

2022 年度 個人研究実績・成果報告書

2023 年 4 月 22 日

所属	人間社会学部	職名	教授	氏名	吉田正人
研究課題	簿記・会計の研究（非営利組織と非営利会計の比較検討）				
研究キーワード	永久拘束純資産、一時拘束純資産	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>初版では非営利組織に適用される会計基準の共通化として、モデル会計基準アプローチを JICPA の研究会が提唱している 2019 年報告の詳細を明らかにしたが、最新の 2022 年報告が公表されたことにより、さらに掘り下げて同アプローチを追及した内容になっている。また、この会計基準の適用対象である非営利組織に特徴もさらに詳しく検討したが、昨今の法人格取得の容易さから批判的な視点からも指摘している。</p> <p>なお、モデル会計基準の純資産概念を中心にした拘束純資産等を検討する論文は完成に至らなかったため 23 年度に継続して完成させたい。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>『はじめての人間社会学—現代社会の SDGs—（第 2 版）』2023 年、中央経済社、共著「第 13 章非営利法人与会計」</p> <p>【学会発表等】</p> <p>3. 主な経費</p> <p>文献の購入に使用した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p>					
（本文は 2 ページ以内にまとめること）					